

## 「情報セキュリティ10大脅威2021」(組織) 8位

# インターネット上のサービスへの不正ログイン

IPA(情報処理推進機構)が公開している「情報セキュリティ10大脅威2021」にて、「インターネット上のサービスへの不正ログイン」が前年の16位から大幅にランクアップして**第8位**にランクインしています。

インターネット上のサービスに対して不正に入手したIDやパスワードを使い、不正ログインが行われ、顧客情報やサービス利用者の個人情報等が窃取されたり、不正に操作されたりする被害が発生しています。正規のIDとパスワードを使ってログインされた場合、そのアクセスが正規なのか不正なのか判断することは難しく、知らない間に被害が拡大してしまうおそれがあります。

### 攻撃手口

#### ①パスワードリスト攻撃

不正に入手したIDとパスワードのリストを使用し、自動的に入力するプログラム等を用いてログイン機能を持つインターネット上のサービスにログインを試みる。複数のサービスでIDとパスワードを使い回していると、一つのサービスでIDとパスワードが流出した場合に全てのサービスでログインされるおそれがある。

#### ②パスワード推測攻撃

使われやすいパスワードや、アカウントの所有者が公開している個人情報(氏名、生年月日等)からパスワードを推測し、そのパスワードでログインを試みる。

#### ③ウイルス感染

サービスの利用者に悪意あるウェブサイトやメールに添付されたファイルを開かせることで、使用している端末をウイルスに感染させる。

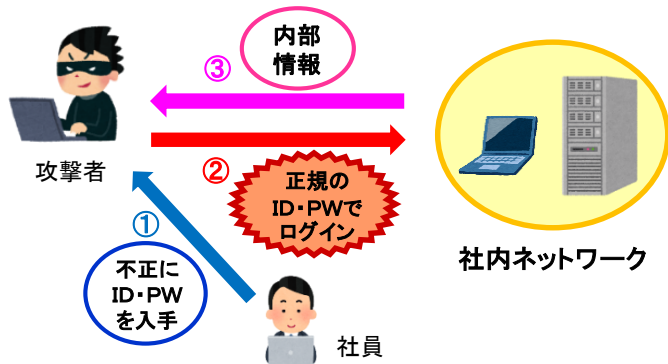
その後、利用者がその端末でサービスにログインすることで、その時入力したIDやパスワードを窃取し、その認証情報で不正ログインする。



### 情報流出事例

昨年末、国内の某企業が利用しているクラウドサービスに不正ログインが行われ、取引先の情報8,000件以上が流出しました。攻撃者が何らかの方法で入手したIDとパスワードを使い、社員になりすましていたとみられています。

同社は、セキュリティ対策を行っていましたが、**正規のIDとパスワードを使ったログイン**であったため、既存の対策では防げなかったと思われます。



### 対策と対応

#### 被害を予防するために・・・

- ・「情報セキュリティ対策の基本」(下記参照)を実施
- ・添付ファイルやURLを安易にクリックしない
- ・パスワードの使いまわしをしない
- ・パスワード管理ソフトやブラウザのパスワード管理機能の利用
- ・サービスが推奨する認証方式の利用

#### 被害に遭ってしまったら・・・

- ・影響調査及び原因の追及、対策の強化
- ・関係者、関係機関への連絡
- ・漏えいした内容や発生原因等の公表
- ・被害者に対するすみやかな連絡と補償

攻撃の系口	情報セキュリティ対策の基本
ソフトウェアの脆弱性	ソフトウェアの更新
ウイルス感染	セキュリティソフトの利用
パスワード窃取	パスワードの管理・認証の強化
設定不備	設定の見直し
誘導(罠にはめる)	脅威・手口を知る

【参考】IPA「情報セキュリティ10大脅威2021」

「情報セキュリティ10大脅威 2021」の詳細については、下記ウェブサイトで公開されています。

<https://www.ipa.go.jp/security/vuln/10threats2021.html>